



The Y's Men's Club of Kyoto
ZERO
since 2010

6

2011
JUNE

6月10日発行
第1巻 第9号 通巻9号

Bulletin
CHARTERED 2010



◆今月の聖句 新約聖書 ペトロの手紙一2章19節～20節

不当な苦しみをうけることになっても、神がそうお望みだとわきまえて苦痛を耐えるなら、それは御心に適うことなのです。罪を犯してうちたたかれ、それを耐え忍んでも、何の誉れになるでしょう。しかし、善を行って苦しみを受け、それを耐え忍ぶなら、これこそ神の御心に適うことです。

クラブ会長主題： 出会おう! 新たな自分に!～楽しく! 熱く! 有意義に! クラブ会長：高倉英理
国際会長主題： “Once More We Stand” 心新たに立ち上がろう 国際会長：藤井寛敏(東京江東クラブ)
アジアエリア会長主題： “Once More We Stand” 心新たに立ち上がろう アジアエリア会長：高田一彦(横浜クラブ)
西日本区理事主題： 『飛翔たとう ワイズスピリットを胸に』西日本区理事：仁科保雄(京都キャピタル)
京都部部長主題： 『ワイズビジョンを、思いやりと共に』京都部部長：阪田民明(京都グローバル)



「再びZEROへ」

熊本 祐滉

ZEROクラブに入会して1年が経ちました。もう一度原点に戻って入会した時の気持ちを考えました。

私がZEROに入会した理由は2つあります。

一つはメンバーの、人のよさです。これまで出会ってきた年上の人達のイメージは

「偉そう、自分の自慢話が長い、接待(あいて)をされたい、祇園好き」でした。特に段階の世代。

でも、ZEROクラブで出会った人たちは今までの私が思い浮かべていたイメージとは全く違う人たちばかりでした。

地位も身分も年も関係なく、人として平等に接してもらえる。この事が入会を決めた一つ目の理由です。

もう一つは1からみんなで決めて、みんなのやりたいことをやりながらクラブを作っていくという考え方でした。

名前、パナーからメンバーで意見を出し合って決めていく過程に僕は魅力を感じました。

もともとあるクラブに入会した場合、方針、行事、上下関係などできあがっており、そのクラブに入るイコール、

クラブに服従しなければいけないという空気が見えているクラブもあります。

ZEROクラブは全てがゼロからみんなで決めていく。

この2つが、僕が入会を決めた理由であり、在籍している理由です。

1年間プリテン委員長を担当しました。僕の役割は原稿をメンバーから集め、それを一つにまとめて中内さんに構成してもらう。

メンバーの協力がなければ何もできない担当でした。第1期にプリテン委員をやることによって

各メンバーに原稿の依頼をしながら会話ができて、関わる事ができました。

自分から積極的に人と接しない僕にとっては良い経験をさせていただきました。良かったです。

1年間どうもありがとうございました。

第二期もZEROに戻って新たな気持ちで活動をしていきたいと思っています。

合同例会 オークション例会 全日空ホテル

平成23年5月11日(水)

東日本大震災への義援金集めとしてTOBEクラブと合同オークション例会が行われました。私は定価1万円のおもちゃと本を数冊出品しました。

結果おもちゃは350円、本はまとめ売り、私の商品だけではなくいつもの商品がそのように落札されました。

義援金集めという目的の中で、このようなお金の流れはどのようなのでしょうか？ 義援金が目的なら現金1万円を寄付した方がいいのではないのでしょうか？

義援金のため、クラブの為に持ってきた商品がまとめ売りされた時の気持ちはどんな感じでしょうか。時間がなかったからと理由にされそうですが、とにかく私個人としてはあまり気持ちのよくない例会でした。

熊本祐滉



5月第2例会 SOLD(希少難病患者支援事務局)支援講演 ホテル日航プリンセス京都

平成23年5月26日(木)

5/26 5月第二例会は、SOLD(希少難病患者支援事務局)のみなさん、共に研究活動をされている東海大学医学部佐藤 健人准教授をお迎えしての講演+懇親会でした。

中岡 亜希さんからは希少難病患者としての体験から、今では支援する側にも立つに至った経緯を。

小泉理事長からは、中岡さんを支援する中で、難病患者たちに対する我が国の支援体制の貧弱さを知り、中岡さんの遠位型ミオパチーだけでなく、多くの認定されていない難病患者を支援する必要性を感じ、そのためには患者、支援者自らが治療方法への研究、開発に目を向ける事だと思に至り、そして、佐藤先生はじめ、積極的に携わっていただく研究者との出会いがあった、と淡々と語られた。

いつも明るく、淡々とした語り口調にスツと聞いてしまう。が、それは、大変な難関への挑戦であり、本来行政が成すべき事業への示唆であり、多くの正しい心を持つ人々への呼びかけでもあるのでしょう。

患者さん達の大変なご苦勞を思いつつ、SOLDの人たちの高邁な思いに基づく活動、強い信念、そしてその正しいであろう方向性に感銘し、我々が息の長い応援団たりえることを願わずにはられません。

この日の52人の出席者のみなさんにも同じ思いを感じていただけたであらうと信じ、素晴らしい例会だったと自賛したいと思います。

そして、あの佐藤准教授、ああいう先生がおられるのですね!

何も解っていないであろう我々相手に、あの難しい話をことさらかみ砕くでもなく、サラサラと、…いつのまにか我々の脳裏に残ってる。別に冗談を言われるわけでもないのに、何となくほほえんでしまう、これは佐藤先生の暖かさなのかもしれませんね!

今思えば、フォーラムでお話を聞きした、もうおふたかたの先生にも通じることなんですが。もうちょっと見た目は堅そうですが。

思うに、この辺りがSOLDの皆さんとつなぎ会える所以なのかもしれません。だからこそ、気負うことなくサラサラと手弁当で高品質の研究が続けられるのかもしれない。

佐藤先生の今があるのも中学生の頃の体験がきっかけとか。

みなさんの身近な学校などでSOLDのミニフォーラムなど企画してはどうでしょう?

ああいう研究者が増えるきっかけ作りも我々にできる応援のような気がします。そう思うと、西村さん発案の映画作りも有効なツールになりそうですね! 佐藤先生にも出演いただければ、なお。

心地よく例会場を去ろうとするとき、後ろから「SOLD支援のライブをやるぞ」という声が聞こえたように思っていました。

これも幻聴などではなく7/10に実現します。



京都YMCA第7回かもがわチャリティーラン

平成23年5月22日(日)

今期のチャリティーランは5/22(日)に開催されました。ZEROクラブからの競技参加はありませんでしたが、チャーハンとスープの屋台を出店しました。

当日は天気予報通り、朝から怪しい雲が空一面に、「大量の売れ残り」の事が頭をよぎりました。とりあえず河村Y宅へ食材・機材をとりに行きましたが、ご夫婦で仕込中。(河村メネットありがとうございました。) 私も微力ながらお手伝いさせていただき積み込み完了。現地へ到着しましたが、まだ公益社の皆さんが黒ズボン+白シャツ+黒タイでテント建込作業中。

(黒タイははずした方が良くと思うのは私だけでしょうか?)

食材・機材をブースに運び込んでいる時に、井上Y登場。煙草を燻らせながら色々配置を検討してもらっている最中に、雨がポツリポツリ。

やがてその雨は豪雨となり、一時は河川敷の舗装部分は小川如くとなりました。やがて他のメンバーも揃って、試しに中華鍋を振っていただきました。

見栄え・味もバッチリ?開会式も終え競技が始まり、我がブースも10:00前にはフライングでオープン。予想外の客足でドンドン売れていきます。

(ひと鍋ごとに、味が変わるレインボーチャーハンは好評?でした。)

天気は相変わらずの様子で大会は縮小の内容となりましたが、メン:10
ゲスト:1の参加で持ち込んだ食材もほぼ残ることなく15,150円の売り上げがあり、なんとか終えることができました。

皆さま本当にありがとうございました。

第1期YMCAサービス事業委員長 宮越 寛

おくどさん・石窯の試運転&試食会 リトリートセンター

平成23年5月15日(日)

田中ワイズY、土橋ワイズ、竹園ワイズが中心となって、プロフェッショナルな職人技を結集させて、とてもいいものができたと思います。

当日、石窯で焼いたピザも試食しましたが、格別でした。

ZEROクラブとして、このような素晴らしいもの残せたことは大変良かったと思います。また、周りにいた子供達が興味深げにみていたのが印象的でした。』

波多野 守一

「私たち人間は、決して一人では生きられないのです。なぜなら人と共に生きようとして生まれてきているからです。人と共に生きるとは、私たちが愛に生きているということです。私たちは愛によって生きているのです。私たちには愛が必要で、愛なしには生きていけないのです。」
 私たちYMCA、ワイズメンズクラブがいつも向かい合っている言葉です。
 東日本の大震災の被災者の方々への支援は勿論ですが、日ごろより小さな子どもたちから青年、お父さん、お母さん、中高年の方々、更には障がいのある方と共に、言葉や文化の異なる外国人の方々とも寄り添って生きることが求められています。
 私たちの活動の一つひとつが、具現化するための大きな役割を果たしているかどうか、私たち自身が試されているのではないのでしょうか。
 京都YMCA 総主事 神崎清一

I YMCAサマープログラム参加者募集!

YMCAでは今年の夏も、子ども達のための楽しいキャンプやスクールを準備しています。全てのプログラムは、まずはお電話にてご予約ください。

■キャンプ、デイキャンプ

会員 6月7日(火)～8日(水) 午前10時～午後7時
 会員・一般 6月9日(木)～ 午前10時～午後7時
 電話 075-231-4388 (お問い合わせも左記電話まで)

会員先行申し込み期間の6月7日(火)～8日(水)の期間に限り
 電話に加えFAX・Eメールでもお申し込みいただけます。

FAX : 075-251-0970

Eメール: campmoushikom@kyotoymca.or.jp

■短期集中スイミングスクール、

鉄棒・とび箱が好きになる教室、幼児わくわく運動教室
 会員 6月10日(金) 午前10時～
 会員・一般 6月10日(金) 午後2時～
 電話 075-255-4709 (お問い合わせも左記電話まで)



HAPPY BIRTHDAY!

21日 土橋 充佳



HAPPY ANNIVERSARY!

11日 土橋 充佳 & 明子
 27日 宇佐美賢一 & 祐紀

後記

期日に間に合わなくてすいません。1年間ご協力ありがとうございました。 熊本

<強調月間> 6月評価・計画

■ 5月例会出席

第1例会	第2例会
メンバー 16/25名	メンバー 18/25名
メネット 1名	ゲスト 36名
ゲスト 2名	メネット 3名

月間出席者数 21名/月間出席率 84%

■ TOF・CS・FF

TOF	0 pt
CS	0 pt
FF	0 pt

■ ニコニコ

5月	5,000円
累計	153,400円

■ ファンド

5月	85,016円
累計	213,572円

会長	高倉英理
副会長	大西良樹
書記	宇佐美賢一
書記	田中光一
会計	野中修一
会計	井上晴雄